

「別紙1-1」図書館情報システム機能仕様(要望)書兼回答書

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。

※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。

※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
1 サービス全般	サービス全般	サービス提供範囲	1	1	下記サービスレベルについて遵守すること カウンター業務 貸出・返却／資料検索／利用者登録／予約・リクエスト／相互貸借 資料管理業務 書誌データ管理／ローカルデータ管理／雑誌管理 発注受入管理 利用者管理 帳票 OPAC(利用者公開端末) Web蔵書検索 スマートフォン蔵書検索 AVブース	
		システム要求レスポンス(通信速度100MB時の前提)	2	2	貸出・返却時のバーコード読取時のデータ応答:1秒以内(通信速度100MB時)	
			3	3	インターネット端末より書誌検索キーワード入力時の応答:10秒以内(ヒット件数100件)	
		書誌の最大登録数	4	4	推定蔵書数30万冊を管理できること(5年後推定)	
2 全般	全般	画面	1	5	画面のサイズは任意に変更でき、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目のサイズも自動的に変更できること	
			2	6	データ登録を行う画面において、必須入力となる項目に任意の背景色、文字色を設定できること	
			3	7	全画面において、入力カーソルがある項目に任意の背景色、文字色を設定できること	
			4	8	使用する画面のフォントは任意に設定できること	
			5	9	全画面にログインIDと処理端末IDが表示できること	
		入力	6	10	処理選択・コード値選択がマウスおよびファンクションキーで操作できること	
			7	11	TABキー、Enterキー、上下キーにより各入力項目間のカーソルを移動できること	
			8	12	ボタンが大きく、タッチパネル式であればディスプレイを指でタッチすることによって無理なく操作できること	
			9	13	バーコードリーダによる読み込み時、必ず端末からも確認音が出ること(端末で読み込めていない際はエラー音を出せること)	
			10	14	貸出画面や返却画面の資料明細で、マウスの右クリックによりローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなど、カウンターでの資料修正の省力化が図れること	
			11	15	データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤って「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること	
		画面展開	12	16	貸出・返却等、各関連業務内の処理画面の個々の展開は、メニュー画面に戻らなくても可能なこと	
			13	17	ワンタッチで起動する別画面は、任意に設定できること(4つ以上)	
			14	18	画面展開の際、不要な確認については求めることなく表示すること	
			15	19	画面の遷移状況を表示し、その遷移過程にある画面には、1クリックで戻ることができること 例)①貸出処理→②利用者検索画面→③利用者登録画面→④利用者貸出一覧画面の順で遷移したとき、①②③どの画面にも戻ることができること	
		業務メニュー	16	20	業務メニューの構成は、館および端末ごとに変更できること	
			17	21	職員IDを設定することにより、職員ID毎に業務メニューを設定できること	
			18	22	ログイン情報画面での処理端末IDの変更可否を制御できること	
			19	23	基本業務の起動はファンクションキーを押すことで可能なこと	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			20	24	業務メニューはボタンの配置場所、配置の順番、空きスペースなども各業務毎に設定可能なこと	
			21	25	メニュー画面に長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌が何件あるのかを表示できること また対象資料を一覧で表示できること	
		統計処理	22	26	貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバのデータベースを更新し、日時処理等特別な処理を必要としないこと	
			23	27	各種統計結果は、CSV形式での出力が可能なこと	
			24	28	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること	
			25	29	図書館要覧に記載している統計情報(分類別蔵書冊数(類目別、一般書/児童書別)、利用状況(一般/児童別の登録者数、延べ利用者数、地区別登録者数)、年度の資料貸出点数(一般書/児童書別、月別))を出力できること	
			26	30	利用(貸出・返却・予約)統計表は、日報(時間帯別)・月報(日別)・年報(月別)に出力できること	
		レシートプリンタ	27	31	貸出期限票、予約者連絡票、回送指示票等のレシートを任意の専用プリンタにより出力できること	
			28	32	レシートの出力項目等を端末ごとに設定できること	
		帳票	29	33	帳票システムとして、本図書館の仕様に合わせた背ラベル、バーコード等の印字が可能なこと	
			30	34	本図書館の仕様に合わせた資料番号バーコードをラベル形式で印刷できること	
			31	35	本図書館の仕様に合わせた利用者バーコードをラベル形式で印刷できること	
			32	36	ラベルプリンタと連携し、利用者名、利用者番号、利用者番号バーコードをシールラベルに印刷できること	
			33	37	必要な帳票内容は、CSV出力に対応できること	
		利用者カード	34	38	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと	
		操作ログ	35	39	処理の起動、検索・データ抽出の実行、プリンタ抽出の実行、テキスト出力の実行、データ更新の実行、パラメータの更新、システムコードの更新をログとして保存すること	
			36	40	保存したログは以下の条件を指定して抽出することができ、画面または帳票に出力することができること 抽出条件:処理日範囲、ログインID、処理区分、処理端末番号、プログラムID、更新利用者番号範囲	
		システム連携	37	41	TRCのTOOLiと連携できること	
3 カウンター業務	カウンター業務全般	画面表示	1	42	貸出・返却・検索等の画面は、常時Windows画面に表示でき、その切替えがマウス・キーボードにより可能なこと	
			2	43	画面構成は、誤動作を起こしにくく、疲れを感じにくい作りになっていること	
			3	44	主要業務(貸出、返却、資料検索、利用者検索)については、各画面の識別が容易にできるように工夫されていること 例)複数画面を起動したとき、画面の一部の背景色を見れば、その画面がどの機能であるか識別できること	
			4	45	以下の一覧については、表示項目、位置、列幅を任意に設定できること また、1明細に複数行を表示する設定も行えること ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・利用者予約一覧画面における予約中資料の一覧(1利用者に対する予約タイトルの一覧) ・利用者検索における、検索結果利用者情報の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
		コメント	5	46	利用者に対して、複数のコメント通知機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で随時入れられること	
			6	47	情報非表示設定時でも、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名／資料名が確認できること	
			7	48	資料に対して、複数のコメントを通知する機能を持っていること(付録、汚破損状況等を定型文・自由文で随時入れられること)	
			8	49	資料情報および利用者情報に付加するコメント(定型文、自由文)の数に制限がないこと	
			9	50	コメントの注意音は、貸出時のみ・返却時のみのようにコントロールできること	
			10	51	資料の定型コメントに重要度(大・中・通常)を設定でき、重要度ごとに文字色・背景色が設定できること	
			11	52	利用者の定型コメントに重要度(大・中・通常)を設定でき、重要度ごとに文字色・背景色が設定できること	
			12	53	資料情報および利用者情報に付加されたコメントごとに登録日と登録館が確認でき、さらに変更が可能なこと	
	貸出業務	貸出手順	1	54	利用者番号と資料番号のバーコード読み込みで完了すること	
			2	55	個人・団体・相互等、いずれの貸出処理も同一画面で行えること	
			3	56	資料番号を読み込んだ時点で貸出確定し、データベースを更新すること	
			4	57	当日中に貸出処理をした資料の貸出取消ができること また、統計データは貸出がされなかったとみなして差し引かれること	
			5	58	未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理すること また、チェック画面を表示させ返却後貸出を行う、返却のみ行う、処理を行わないを状況に応じた職員判断により処理を行える設定もできること	
			6	59	不明資料を貸出処理すると、自動的に不明状態を解除し状態区分を貸出中に変更できること	
			7	60	資料種別(図書・雑誌・AV資料等)毎、利用者毎の貸出日数、延期日数、延期回数、種別毎の貸出点数、合計貸出点数が設定できること	
			8	61	貸出資料一覧から資料の返却と所蔵状態を不明状態(強制不明)への変更を同時にできること	
			9	62	予約していた資料を予約していた利用者に貸し出すと、予約データが消去されること また、予約していた利用者以外に貸し出したとき、予約データは維持されること	
			10	63	貸出処理時に表示される明細は自館又は自館グループに表示を限定することができること	
			11	64	利用者貸出一覧の画面にて、貸出館を「全館」「自館」「自館グループ」を切り替えて表示できること尚、初期値の値については、設定で変更できること	
			12	65	利用者貸出一覧の画面にて、貸出一覧の表示は「貸出館・返却期限順」「貸出館・貸出開始日順」の設定が可能なこと	
		図書館カレンダー	13	66	図書館カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと	
			14	67	図書館カレンダーは館毎に設定できること	
			15	68	カレンダーに設定する休館日は、貸出日数に含める休館日と含めない休館日が設定できること	
		貸出期間設定	16	69	各館毎に貸出期限を設定できること	
			17	70	貸出画面から任意に利用延長を行え、貸出期限票の印刷を行えること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			18	71	貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること(ただし、予約資料・相互貸借資料時は自動的にチェックし、延期の可否を判断でき、また、設定によっては延期不可とすることもできること)	
			19	72	貸出中資料の延長を禁止する貸出日からの日数、延長を許可する返却期限日からの前後日数を任意に設定し、チェック対象となった場合は延期の可否を判断できること	
			20	73	貸出期間の変更が可能であり、その際にはキーボードからの入力のみならず一週間延長ボタンや、カレンダー画面表示からの選択の2種類が可能であり、入力の簡素化が実現されること(資料区分毎に変更可能なこと)	
			21	74	貸出中資料の延長期間の上限を設定し、期間中は何度でも延長できる運用が可能であること	
		画面展開	22	75	貸出基本画面より貸出期限変更、利用者仮登録、利用者検索、貸出・予約一覧、利用者詳細情報へ展開できること	
			23	76	バーコードの読み込みにより、貸出画面／返却画面切替および貸出・返却処理画面の起動が可能なこと	
			24	77	利用者氏名、電話番号、住所、生年月日、状態区分等から利用者を検索した上で貸出処理へ展開できること	
			25	78	貸出資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報(書誌詳細、ローカル情報一覧)が表示できること	
		紛失登録管理	26	79	貸出一覧から継続貸出、強制返却、貸出取消、期限変更、紛失登録等の処理が可能なこと	
			27	80	紛失登録時から、任意の貸出状態を選択し、紛失日、メモを管理し、紛失資料の管理を行えること	
			28	81	紛失登録した資料に対する督促対象から除くことができること	
			29	82	紛失した資料情報、利用者情報の帳票が用意されていること 帳票の出力項目には、発行日、発行館、タイトル名、人名、出版者、出版年、分類、価格、ISBN、資料番号、所蔵館を印刷し、利用者に渡すことができるように、切り取り線も併せて印刷できること	
			30	83	紛失登録画面から、除籍予定入力が可能であり、除籍予定入力日、除籍事由区分の入力が可能なこと	
			31	84	貸出詳細画面から、紛失資料の弁償受領書を印刷できること	
		表示情報のクリア	32	85	個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること	
			33	86	個人情報保護の観点から、貸出し処理が終わった時点でその利用者への情報は全て画面からクリアされること(処理をしない一定の時間(設定可能)が過ぎると表示情報が自動的にクリアされること)	
		仮登録利用者への貸出	34	87	利用者の仮登録機能を有すること(その際、統計に必要な項目である性別・生年月日・地区コード・利用者区分は入力すること)	
			35	88	利用者登録画面で仮登録から本登録に更新した時に、仮登録の時に作成した統計データの利用者情報を本登録の利用者情報で更新できること	
		家族連携登録	36	89	家族連携処理された利用者の場合、複数の利用者カードを連続して読み込み、人数に準じて貸出資料を連続して読み込むことができること(リライトカード使用時は除く)	
			37	90	家族連携登録した利用者の家族の未返却資料一覧がワンタッチで表示できること	
			38	91	家族連携処理された利用者間の情報は相互に参照できること	
			39	92	家族連携処理をする利用者は登録時に確認作業を必要とすること	
		画面構成・表示	40	93	画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面を展開できること(利用者番号読み込み時の割当ても設定できること)	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			41	94	利用者番号を読み込んだ時点で、利用者区分、資料種別毎の返却期限および既貸出資料数、延滞資料数、延滞資料(他予約あり)数、督促資料数、予約数、確保済み予約数を表示すること	
			42	95	既貸出資料(全資料、延滞資料、督促資料)の表示／非表示および色設定(文字色、背景色)の設定が可能なこと	
			43	96	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、また表示する項目(資料番号、資料名、貸出期限等)についても、項目や表示幅等が変更できること	
			44	97	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること	
			45	98	個人情報保護の観点から、利用者氏名の表示／非表示を端末毎に予め設定でき、非表示設定時でも、利用者詳細情報画面に展開することで利用者氏名を確認できること	
			46	99	個人情報保護の観点から、貸出した資料名の表示／非表示を予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、貸出情報参照により資料名を確認できること	
			47	100	個人情報保護の観点から、利用者番号読み込み時には氏名を表示し、資料番号を入力すると表示していた氏名を隠すこともできること	
			48	101	貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えることまた、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること	
			49	102	利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約の色を任意に設定できること また、未割当の予約については、「自館貸出可」「返却待ち」「発注中」等の状態も色識別表示できること	
			50	103	貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること	
			51	104	画面上に当日の貸出状況(点数・利用人数)をリアルタイムに準じて表示できること(表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とすること)	
			52	105	利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を色別表示できること	
			53	106	貸出処理時は、操作員が利用者番号読み込みと資料番号読み込みとを見間違ふことのないよう、入力するフィールドの場所が変更になること また、資料番号フィールドで利用者番号を読み込んだ場合、利用者番号でありますを判断して自動的に利用者番号フィールドに遷移し表示させることができること	
			54	107	利用者の貸出詳細画面では、紛失登録・督促連絡記録を一括入力できること	
		レシート印刷	55	108	貸出処理後、利用者番号・利用者番号バーコード・利用者氏名・連絡先・貸出資料・返却予定日・予約待人数・自由文等(端末毎に任意に設定可能)・発行日をレシートプリンタにより印刷できること	
			56	109	貸出処理後、利用者番号・利用者氏名・タイトル・人名・出版社・貸出館・資料種別・分類・返却期限・督促回数・合計貸出点数・発行日・頁数をページプリンタにより印刷できること	
			57	110	貸出明細印刷時に、延滞貸出資料、予約延滞貸出資料、督促貸出資料、予約有り資料に対して、先頭に特定文字を印刷することができること	
			58	111	代表返却期限日をレシート上段に印刷できること 代表期限日は、貸出明細の中で返却期限が最も早いもの、最も遅いものを設定により変更できること	
			59	112	貸出明細を資料名、資料番号の両方を印字できること	
			60	113	貸出印刷指示時に明細行が0件の場合「あなたが借りている資料はありません」等の固定文字列が印刷できること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			61	114	貸出印刷指示時に広告として企業情報、商品情報などを印刷できること 複数社に対応し、複数社の登録および登録された企業を順番に印刷できること	
			62	115	イメージデータを印刷できること	
			63	116	貸出レシートは再出力が可能であること 抽出条件として、全貸出中資料・当日貸出資料のみ・貸出日指定が選択できること	
			64	117	貸出レシートを再出力する際、貸出明細の出力順を、貸出開始日順か返却期限日順か選択できること	
			65	118	レシートに出力する内容は、通常のプリンタへの出力も可能であること	
			66	119	利用者区分ごとに返却期限票の出力形式をレシート形式、またはページプリンタ形式に設定できること	
		シール印刷	67	120	貸出処理後、資料名・著者名・出版社・利用日をラベルプリンタによりシールに印刷できること	
			68	121	シールに出力する内容は、直前の操作による貸出分または選択操作した資料のみ・当日貸出分・貸出中全て、から選択できること	
			69	122	シールは再出力が可能であること	
		操作員通知	70	123	バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合に、バーコード読み込み時に分かりやすい警告音を鳴らせること	
			71	124	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること	
			72	125	貸出画面では、各種確認については確認する業務の性質上、必ずサブウインドウで表示し、確認漏れのないようにすること	
			73	126	延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約有利用者・除籍利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで操作員に通知できること その際、ウインドウによる通知も任意に行えること	
			74	127	コメント付き資料、除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること その際、ウインドウによる通知も任意に行えること	
	貸出業務	利用者カード	1	128	バーコードを印刷した利用者カードに対応可能なこと	
			2	129	利用者カードのイメージを印刷できること また既に登録済み利用者でも未登録の番号で印刷できること	
			3	130	利用者カード紛失への対応のため、登録済み利用者の利用者名、利用者番号、利用者番号バーコードをラベルプリンタで印刷できること	
		オフライン対応	4	131	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる貸出処理ができること	
		その他	5	132	利用者に対するコメントチェックの際に、表示するコメントによってはチェックしないことが可能なこと	
	ブース管理	全般	1	133	AVブース・インターネット閲覧用PCなどの、座席等の貸出、予約、返却および管理ができること	
		貸出処理	2	134	利用者番号、資料番号、利用時間、利用施設を入力して、ブースの貸出処理ができること	
			3	135	未登録利用者(利用者番号がない)でも、氏名・電話番号を入力することで、貸出可能なこと	
			4	136	ブースの貸出実行後、「使用中」状態となり、貸出レシートの出力が可能なこと	
		予約処理	5	137	利用者番号、資料番号、利用時間を入力して、ブースの予約処理ができること	
			6	138	未登録利用者(利用者番号がない)でも、氏名・電話番号を入力することで、貸出可能なこと	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
		返却処理	7	139	資料番号を入力か現在使用中のブースを選択し、貸出中ブースの返却処理ができること	
			8	140	ブースの返却実行後、「空き」状態となること	
			9	141	ブースの返却後、返却されたブースの貸出を行うことができる予約情報を表示できること	
		利用管理	10	142	選択した館名、施設の現在の状況や、貸出状況・予約状況を表示できること	
			11	143	現在の施設状況、施設の貸出実績の状況が表示できること	
			12	144	施設を選択し、貸出画面、予約画面、返却画面に遷移できること	
			13	145	貸出状況一覧では、貸出を行ったブースの名称、利用時間、利用者(番号／氏名)、資料(番号／名称)を表示できること	
			14	146	予約状況一覧では、予約中のブース名称、受付日時、利用者(番号／氏名)、資料(番号／名称)を表示できること	
			15	147	予約状況一覧では、予約中のブースに対し、予約取消ができること	
			16	148	利用施設ごとに、貸出数／予約数／利用時間の月報(日別)・年報(月別)が印刷できること	
	返却業務	返却手順	1	149	返却する資料の資料番号を読み込むだけで返却を確定すること	
		返却処理	2	150	資料番号を読み込んだ時点でデータベースを更新し、完了処理等が不要なこと	
			3	151	不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に無効を解除すること	
			4	152	ブックポスト等の多量の返却本を連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること(返却済み資料の表示を残しておくこと) その際、レシート印刷はリアルタイムに行い、チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること	
			5	153	返却画面貸出一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却(不明処理)、一覧印刷の各処理ができること(返却期限票が任意に出せること)	
			6	154	家族連携登録をした利用者について、ワンタッチで家族の未返却資料一覧が表示できること	
			7	155	返却資料一覧表示時、資料種別(図書、雑誌、視聴覚資料等)貸出中資料が表示されること	
			8	156	返却手続きの際に、返却資料の保管場所情報を、処理端末の場所コードに変更するか否かを資料種別毎に設定できること	
			9	157	返却資料の除籍状態区分が除籍予定である場合、返却資料の除籍状態を自動的に通常に戻すか否かを設定が可能なこと	
			10	158	返却手続きにおける関連利用者へのチェックにおいて、返却利用者と返却利用者の家族連携利用者を対象にするか否かを設定できること 但し家族については、あらかじめ設定した家族連携利用者に限定することが可能なこと	
			11	159	返却時に予約資料を識別することができること	
			12	160	借受資料返却画面から、借受返却リストを印刷できること また印刷終了後、対象データを削除するかどうか確認メッセージを表示できること	
		画面展開	13	161	資料詳細確認・修正処理に移行ができること(複本情報に対しても同じ処理が可能なこと)	
			14	162	返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、また、バーコードリーダによる画面切替えもできること	
		表示情報のクリア	15	163	個人情報保護の観点から、処理をしない一定の時間(設定可能)が過ぎると表示情報のクリアができること(「表示クリア」ボタンを配置すること)	
		画面構成・表示	16	164	個人情報保護のため、返却第一画面では利用者名は表示しないこと(利用者番号表示、また当該利用者の未返却資料数および延滞数(うち予約有り数)の表示を端末毎に設定できること)	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			17	165	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、またその情報(資料番号・資料名・返却期限等)についても、表示する項目や表示幅等が変更できること	
			18	166	返却資料の保管場所毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと	
			19	167	返却資料の受入形態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと	
			20	168	返却資料の更新後資料状態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと	
			21	169	返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること	
			22	170	画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面へ画面展開できること(資料詳細、貸出情報等の参照機能も割当てられること)	
			23	171	返却画面で、画面を切り替えることなく、資料を返却した利用者の未返却資料一覧を表示できること	
			24	172	未返却資料一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却(不明処理)、一覧印刷の各処理ができること(返却期限票が任意に出せること)	
			25	173	未返却資料の延滞・督促情報は色別(文字色・背景色)による表示が可能なこと	
			26	174	画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること(表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とする)	
			27	175	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示されること	
		操作員通知	28	176	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること	
			29	177	確実に返却されない場合は、エラー音がでること	
			30	178	返却した利用者に関する予約割当て、コメント情報のチェックがかけられること	
			31	179	コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借受資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること	
		返却者確認	32	180	資料を借りていた過去数名分の利用者の貸出状況を一覧表示で確認できること	
			33	181	返却者一覧から、当日返却した利用者名を選択し、レシート印刷ボタンを押すことで返却証明書をレシートに印刷できること	
			34	182	返却証明書には、利用者番号、貸出資料名、返却時刻および指定したメッセージを印刷できること	
			35	183	返却した資料は返却した時点で、貸出履歴を削除できること(以下の例外を除く)	
			36	184	返却された資料番号から、①当日中に限り②前々回利用者までに限り③指定した人数に限り運用に制限をつけ、返却者が確認できること	
			37	185	返却された資料番号から、①前回利用者に限り②前々回利用者までに限り③指定した人数に限り運用に制限をつけ、返却者が確認できること	
			38	186	返却者確認画面では、返却資料タイトル・返却日時・返却館・返却利用者番号・返却利用者名・返却利用者電話番号が表示できること	
			39	187	返却者確認画面の表示内容を返却資料タイトル・返却利用者番号番号に制限することができること	
		オフライン対応	40	188	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる返却処理ができること	
		その他	41	189	返却資料の明細をダブルクリックまたは右クリックすることにより、資料データの詳細情報(書誌詳細、ローカル情報一覧)が表示ができること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
		予約対応	42	190	利用者を特定することにより、当日の返却済み資料を確認できること	
			43	191	予約されていた資料が返却され、受渡館が返却処理をした館の場合、その資料は予約割当中とする	
			44	192	返却された資料が他館受渡資料の場合、回送処理を実施し、本の状態を自動的に①予約回送中②通常回送中③回送中にしないを選択可能にすること	
			45	193	予約割当中の資料を再度返却しても、割当対象の利用者は変わらないこと	
		レシート印刷	46	194	予約されていた資料の返却時に、予約資料情報および予約割当て対象利用者の情報を予約割当通知票として自動的に印刷できること	
			47	195	予約割当通知票の最上部に割当対象利用者の氏名または氏名カナの先頭2文字を出力できること	
			48	196	返却された資料がチェック対象の保管場所に設定されていたとき配架指示票が印刷できること	
			49	197	返却された資料が借受資料のとき、借受資料返却指示票を印刷できること	
			50	198	他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、所蔵館への回送指示票を印刷できること	
			51	199	予約受渡館として他館を設定している資料が返却された場合、予約回送を通知し、予約回送指示票を印刷できること	
			52	200	予約割り当てレシートの再出力が可能であること	
			53	201	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票／利用者番号通知票／資料レシート／書誌レシート／予約状況レシート／タイトル一覧レシート	
			54	202	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること	
			55	203	レシートの画像は印字期間を登録し、開始／終了の管理ができること	
	資料検索業務	検索速度	1	204	300件ヒットで5秒以内	
		検索方法	2	205	資料名・著者名・出版者・ISBN・分類・MARC番号・内容細目等のMARCデータを有効に活用した検索および、タイトルコード、請求記号・資料番号を検索項目にできること	
			3	206	資料区分の複数選択による横断検索ができること	
			4	207	所蔵の有無、発注中資料の混在検索ができること	
			5	208	論理演算子(AND、OR、NOT)を使用し、複数項目間の複合検索が行えること(5項目以上の複合検索に対応すること)	
			6	209	項目により前方／後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること	
			7	210	各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること(同音異語でも検索でき、清音規則は任意に設定できること)	
			8	211	検索中断キーを有するほか、中断件数を設定できること(少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること)	
			9	212	資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること	
			10	213	「全文検索」では 複数の検索語をスペースで区切ることにより、「すべてを含む」または「いずれかを含む」といった掛け合わせができること	
			11	214	「全文検索」で検索する際、「含めるキーワード」だけでなく「含めないキーワード」を指定することができること 例:「京都」を含み「東京都」を含めない	
			12	215	全文検索と通常検索(前方一致等)は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			13	216	請求記号等の所蔵(ローカル情報)項目を一次キーとして検索できること(書誌項目との複合検索が行えること)	
			14	217	検索対象の絞り込み条件が設定できること(基本的なこと(資料種別・保管場所・所在館・状態区分等)は第一画面で設定、検索でき、リストアップができること)	
			15	218	種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入区分、予算区分、除籍状態、貸出開始日の検索およびリストアップができること	
			16	219	資料詳細情報確認画面から、書名、著者、出版者のリンク表示を行い、各項目をクリックすることで、選択項目を検索条件とした検索処理を実行することができること	
			17	220	本に印刷されているISBNバーコードを読み取って検索できること	
			18	221	項目指定の検索で入力された検索語があらかじめ設定した文字数より少ないときは、自動的に完全一致に切り替わって検索できること	
		印刷	19	222	検索した一覧をページプリンタ又はレシートプリンタに印字可能なこと	
			20	223	検索した一覧を紙に出力する以外に、CSVおよびPDF形式に出力可能なこと	
			21	224	レシートプリンタに印刷する際には、指定した明細から件数を指定した一覧印刷が可能なこと	
		絞込条件	22	225	ローカル項目(資料種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入形態区分、貸出区分、受入先、予算区分、購入区分、媒体区分、利用対象、流通区分、刊行形態)の組み合わせを絞り込み条件として選択可能であり、任意に絞込みのパターンとして上記区分の組み合わせを保持できること	
		典拠検索	23	226	内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること(その関連を一覧画面で確認できること)	
			24	227	画面から典拠対象の追加・修正・削除が行えること	
			25	228	外部人名典拠ファイルからの一括登録も可能なこと	
		再検索	26	229	検索条件を自動的に保存(保存件数は任意に設定できること)し、後から再検索できること	
			27	230	目録画面にて、目録の次の項目から再検索ができること ・書名(書名/版書名/シリーズ名等)、著者、出版者 ・標目(タイトル、著者、件名)	
			28	231	再検索の際に、巻号情報を含めずに検索可能なこと	
		画面展開	29	232	検索を実行した結果、該当件数が一定の件数以下の場合は、一覧画面に自動的に遷移できること また、その件数は任意に設定できること	
			30	233	検索結果一覧画面から複本(ローカル)一覧画面、発注画面・目録画面・予約画面・資料詳細画面へ展開できること	
			31	234	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名、電話番号等が確認できること	
			32	235	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで貸出一覧、予約一覧画面へ展開し、貸出中資料、予約中タイトルの確認できること	
			33	236	書誌一覧画面、もしくは、複本一覧画面から、書誌登録、所蔵登録、予約・発注処理の各画面に展開できること	
			34	237	検索結果一覧画面で明細行をダブルクリックすることにより、予め設定された画面(複本一覧・目録表示・予約一覧・発注一覧・資料詳細)に展開できること	
			35	238	検索結果一覧画面から、MARCタグ単位の書誌情報一覧画面に遷移できること	
			36	239	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで督促連絡依頼表の出力画面へ展開し、督促連絡依頼表を貸出館のプリンタに直接出力できること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
		画面構成・表示	37	240	複本一覧画面にて、以下の項目の日付を時分秒まで表示できること 最終利用日／資料確認日／最終更新日／初回不明確認日／最終不明確認日／不明本発見日／除籍予定処理日／除籍処理日／貸出日／督促日／督促連絡日／前回貸出日／前回返却日／前回継続貸出日	
			38	241	検索結果を随時保存(件数は任意に設定)し、選択することにより最新の検索結果を表示すること(同一館内であれば他の端末でも保存した結果を利用できること)	
			39	242	特定書誌の資料の所蔵資料・未所蔵資料・発注中資料等の状態が検索結果から把握できること	
			40	243	書誌の詳細情報を目録カード形式で表示できること(目録表示は目録カードと同じく、全てのデータをカード形式で表示すること)	
			41	244	検索結果の書誌一覧内に代表サブタイトルを表示できること また、選択中の書誌に対応する全サブタイトルを一覧外に表示できること	
			42	245	検索結果から所蔵状態(不明資料・除籍・貸出中等)の把握・修正が行えること	
			43	246	検索結果一覧画面より検索結果一覧の印刷が行えること	
			44	247	検索結果一覧画面は登録順(最新が上)を常態とし、書名順・著者名順・分類順(任意に設定可能なこと)に並べ替えできること	
			45	248	検索結果一覧で現在貸出可能、貸出中、他館貸出可能、所蔵なし資料等を背景色または文字色で色分けして表示できること	
			46	249	検索結果として表示する項目は任意に設定できること	
			47	250	予め画像や音声を登録した資料であれば、資料詳細画面からその画像や音声を参照することができること	
		TOOLi連携	48	251	図書館システムとTOOLiサーバと連携する機能があること 図書館所蔵情報と同時に未所蔵資料の検索をTOOLiサーバと連携して実施し、結果の一覧を同一画面に表示できること	
			49	252	書名、著者名、件名などをAND、OR検索できること	
			50	253	フリーワード検索と条件指定検索(書名・著者名・件名など)とを掛け合わせた検索ができること	
			51	254	検索結果のタイトル一覧は、所蔵データと未所蔵データ(TOOLiのデータ)の色を変えて表示できること	
			52	255	検索結果の詳細情報の表示が行えること	
			53	256	詳細情報からデータのダウンロードを行い図書館データベースに取り込むことが可能なこと	
	利用者登録業務	住所入力	1	257	住所ファイルを有し、住所コードにより住所登録できること(住所コードの入力または選択により、住所・郵便番号が自動的に入力されること)	
			2	258	郵便番号入力確定時、住所ファイルから該当する住所コードを参照し、自動表示できること	
			3	259	住所コードの入力簡易ツールとして住所コード名(カナ)もしくは郵便番号を入力すると該当資料コード一覧が表示し、簡易にコード入力が可能なこと	
			4	260	広域地域の住所コード・地区コードが入っていて、利用者登録時に利用できること	
			5	261	日本郵便提供の郵便番号データを利用して郵便番号入力時に住所表記の自動表示をすることができること	
			6	262	郵便番号データはあらかじめ設定したスケジュールで自動的にダウンロードすること	
		登録処理	7	263	複数の電話番号および連絡先を登録できること(この時、「保護者」「通勤先」などと別枠で入力でき、表示されること)	
			8	264	利用者の登録、既存利用者の登録情報の修正、登録利用者の除籍、利用者カード紛失時等の再発行処理を行えること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			9	265	家族の2人目を登録すると、以降は電話番号入力後ワンタッチで利用者データを複写し、氏名・生年月日・性別等を直すだけで次々に登録することができること(前入力データのコピー機能を有すること)	
			10	266	利用者の検索機能を有すること	
			11	267	登録(修正)処理した利用者の履歴を参照することができ、次利用者の登録・修正処理にそのデータを活用できること	
			12	268	利用者を修正する場合、同じ電話番号や住所を持つ利用者、または家族連携した利用者の情報も一括で修正できること	
			13	269	生年月日を西暦でも和暦でも登録できること また西暦で登録した場合、次回利用者情報を読み込み時は、登録したときと同じ形式(和暦、西暦)で表示されること	
			14	270	生年月日ではなく年齢を登録する運用もできること	
			15	271	利用者名入力時に、自動カナ振り機能を有すること(漢字のローマ字入力に基づいて振れること)	
		仮登録	16	272	貸出画面からワンタッチで利用者仮登録画面に展開し、簡易に利用者仮登録を行うことができること	
			17	273	利用者仮登録画面の初期入力位置を、利用者番号に設定可能なこと 仮登録時に利用者番号以外の入力を省略することが可能なこと	
		再発行	18	274	図書館利用データ(貸出状況等)を引き継いでの利用者カードの再発行・番号置換ができること	
		有効期限	19	275	利用者の有効期限の管理を行うことができること尚、貸出、返却画面にて、有効期限切れ前の事前チェックが可能なこと	
		二重登録チェック	20	276	利用者氏名カナ、電話番号、生年月日で二重登録利用者のチェックを自動的に行えること	
		パスワード登録	21	277	利用者のメールアドレスやパスワード情報の登録ができ、Web情報の提供・利用者端末等での貸出・予約のシステムと連動できること	
			22	278	E-Mailは最大6個まで登録できることまた、予約確保時の連絡先、督促の連絡先として、どのE-Mailでも指定できること	
			23	279	パスワード入力画面にてパスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと	
			24	280	パスワードの非表示の際に職員のみ確認ができるように、パスワード入力により表示する機能を用意していること	
			25	281	ランダムなパスワードを発行できる仮パスワード機能を有すること 但し桁数等の基本情報を設定することができること	
			26	282	仮パスワードには、数字・英文字・記号が使用できること	
			27	283	仮パスワードには有効期限を設けることができること	
			28	284	利用者登録画面上でパスワードの参照・編集ができないように制限できること	
		コメント管理	29	285	利用者のチェック機能として定型コメントの選択とフリーな文字を入力できること	
			30	286	利用者に付加するコメントごとに登録日と登録館を登録でき、さらに変更が可能なこと	
			31	287	利用者コメントの種類により、利用者バーコードスキャン時に①毎回表示するコメント②表示後消去するコメント③チェックしないコメントの選択が可能なこと	
		管理情報	32	288	管理項目として、データ登録館、データ登録サービスポイント、カード発行日、貸出形態区分、状態区分、除籍日、再発行回数、最終利用日の管理を行えること	
			33	289	利用者毎の過去5年分の利用実績(貸出数、利用回数)を参照できること	
		その他	34	290	年齢は生年月日から自動計算し表示すること(年次処理等は不要であること)	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
	予約リクエスト 業務		35	291	生年月日ではなく年齢の登録で運用する場合でも、年次処理などによる年齢加算の処理は不要であること	
			36	292	利用者カードの有効期限を更新するとき、次のいずれの日付を基準として起算するか設定できること ・カードの更新を行った日から起算する ・カードの有効期限日から起算する ・カードの利用者の生年月日から起算する	
			37	293	利用者カードの有効期限は自由に設定できること	
		予約処理	1	294	予約資料の現在の状態(利用可能、予約中等)の管理が行えること(貸出予定日を表示できること)	
			2	295	利用者単位の予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限追加する場合は確認画面を表示し、続行・中断が選択できること	
			3	296	利用者単位の予約上限数は、資料区分(図書、雑誌、AV)の任意の組み合わせにより設定できること	
			4	297	特定した予約(割当て済みを含む)を解除できること	
			5	298	割当済みの予約の割当状態を解除したとき、予約データを残すのか取り消すのか選択できること	
			6	299	割当済みの予約の割当状態を解除し、予約データを残すとき、予約順位を最下位にするか割当待ちの最上位にするか設定できること	
			7	300	予約処理画面から利用者を検索し、利用者の設定ができること	
			8	301	受付館・受渡館を設定することができ、貸出・返却業務とも完全連携が行えること	
			9	302	本人が借りている資料のタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分ごとにできること	
			10	303	本人が予約しているタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分ごとにできること	
			11	304	館同士の資料の予約連絡をシステムと連携したメッセージ機能により行えること また、受け取った内容に関して確認や拒否等を行えることができ、関係する資料、利用者の詳細情報を表示、修正することができること	
			12	305	資料一覧画面で複数の資料を選択し、連続・一括予約を行えること	
			13	306	グループ予約(複数資料に任意の予約数を割当てることが可能で、課題図書等への予約管理が可能なこと	
			14	307	グループ予約で複数の課題図書等の特定資料に予約をしても、任意の冊数貸し出すと他の特定の資料の予約も自動的に削除されること	
			15	308	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること	
			16	309	通常予約済みの複数予約情報を後からグループ予約、セット予約ができること	
			17	310	グループ予約をあとからセット予約または通常予約に変更できること	
			18	311	セット予約をあとからグループ予約または通常予約に変更できること	
			19	312	シリーズ本など、あらかじめセットとして扱うタイトルのグループを登録することにより、同じグループのタイトルが予約された際に自動的にセット予約にすることができること	
	予約リクエスト 業務	予約処理	1	313	任意の予約を選択し、予約取消が行えること	
			2	314	貸出可能資料が自館になく他館にはある場合に、他館に対して予約回送依頼のメッセージをシステムから送信し、管理することができること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			3	315	予約の連絡について連絡済、未連絡を管理でき、連絡済から一定期間(任意設定可)貸出されない予約資料を抽出・割当解除することで次の予約者が利用可能なこと	
			4	316	利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能を有し、この場合でも複本管理予約ができること(予約棚にある資料を使い直接予約をかけられること)	
			5	317	複本がある場合、全ての複本に予約がかかり、どれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること	
			6	318	相互貸借資料の予約にはチェック機能が働くこと(予約対象のタイトルが全て借受資料のときに注意メッセージが表示されること)	
			7	319	資料番号を入力し、特定資料に対して予約が可能なこと	
			8	320	特定資料に対して予約された資料は他の利用者に対して予約割当されないこと	
			9	321	特定資料に対して予約をした場合は、複本が返却されても予約割当されないこと	
			10	322	予約メモの入力ができること	
			11	323	予約メモは定型文や手入力、またはその両方の組み合わせができること	
			12	324	予約メモ情報は、返却時に出力されるレシートに印字可能であること	
			13	325	資料予約入力画面及び利用者予約一覧画面に、「代表サブタイトル」を表示できること	
		予約管理情報	14	326	予約処理の受付館、受渡館の選択が可能なこと	
			15	327	予約受付および受け渡し場所場所は、設定により館またはサービスポイントの指定が選択できること	
			16	328	窓口での予約受付場所は、各端末に設定された館またはサービスポイントを初期表示すること	
			17	329	予約の新規登録時、予約受付場所は、設定により初期値を変更できないようにすることができること	
			18	330	予約受付場所の初期値を変更できない設定の時でも、登録後に修正が可能なこと	
			19	331	予約した際の予約日時を管理することができること	
			20	332	予約順位は受付方法(窓口・館内OPAC・WebOpac)にかかわらず、登録した順番とする	
			21	333	予約順位の変更ができること ただし、予約受付時時間に変更されないこと	
			22	334	予約受付時間を変更しても、予約順位は変更されないこと	
			23	335	予約された資料の割当方法(返却待ち、借受待ち、発注待ち等)の情報を管理できること	
			24	336	受取希望日の入力、管理が可能なこと	
			25	337	受取希望日を過ぎた予約がある場合、貸出画面や返却画面でメッセージが表示され、利用者に確認ができること また、受取希望日を過ぎた予約リストを出力し、予約の一括取消ができること	
			26	338	予約申込方法(来館予約、電話予約、OPAC予約、Web予約)の管理ができ、申込方法ごとの統計資料が出力可能なこと	
			27	339	資料の予約回送が無駄なく行うため3件の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館ごとの優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること	
			28	340	資料の予約回送が無駄なく行うため複数資料の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館ごとの優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
		予約連絡管理	29	341	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象:全件、割当済のみ、未割当のみ ・範囲指定:予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分	
			30	342	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信、はがきによる一括出力が可能であること ・抽出条件:利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法(電話、E-Mail等)	
			31	343	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象:全件、割当済のみ、未割当のみ ・範囲指定:予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること	
		予約制限	32	344	予約したタイトルに対して、割当対象館を特定館のみと指定することができること	
			33	345	予約したタイトルに対して、割当対象館を複数指定できること	
			34	346	予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること	
			35	347	特定タイトルに対して、期間を指定した予約受付制限を実施すること	
			36	348	予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと	
			37	349	予約割当を禁止したい(予約させたくない)資料を特定の別置/分類や保管場所で指定することが可能なこと	
			38	350	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、職員判断により予約を受付ける設定にもできること	
		予約上限	39	351	予約の上限設定に、申し込み方法(窓口/電話/OPAC/Web)およびタイトルの媒体区分ごとに予約の上限設定が可能なこと	
			40	352	1日に予約可能な件数を制限できること(申し込み方法毎)	
			41	353	予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること	
		予約変更・取り消し	42	354	予約変更・取り消しの履歴を保存し、帳票に出力可能なこと	
		画面展開・表示	43	355	返却や受入等により利用可能となった利用者を抽出し、予約連絡一覧を表示できること	
			44	356	検索結果から予約処理に展開することができること	
			45	357	予約者の予約・貸出状況(予約数・貸出数・督促数・延滞数)を予約受付画面に表示できること	
			46	358	予約者の一覧を、氏名をつけてワンタッチで出せること	
		優先順位	47	359	基本的に予約した順で優先を決めるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能なこと	
	相互貸借業務	予定入力	1	360	他館からの相互貸借の予定を入力でき、相互貸借の依頼表を出力可能なこと	
		受入処理	2	361	借受資料を自館資料登録と同様の操作で登録、修正が行えること(借受資料登録用の専用画面は持たないこと)	
			3	362	他館からの相互貸借の予定を検索し、該当する資料を特定し、受入処理して一般利用者に対する貸出ができること	
			4	363	どこの館からどの資料を借りているか画面で表示できること(借受館へ返却済みか等の状態も表示できること)	
			5	364	借受資料の登録は、事前に借受の予定を入力していなくても、資料到着後に登録して受入処理ができること	
			6	365	借受予定入力の際には、タイトル、著者名、出版社、出版年月、ISBN、分類番号、資料番号、請求記号、借用館、借用予定日等が入力できること	
			7	366	借受予定の資料に予約がかけられること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
		借受先への返却期限	8	367	借受資料単位にの借受先への返却期限を管理できること(一般利用者に対して貸出をする際に、他館資料の貸出期限と自館資料の貸出期限をチェックし、他館資料の貸出期限が短い場合、貸出期限が短い場合、貸出時に注意メッセージを表示できること)	
		返却処理	9	368	他館資料を返却した際に、借りた履歴を残すためにタイトル情報を保存するかどうかを選択できること(次回再利用できること)	
		履歴	10	369	他館資料の借受状況を、タイトルや借受日等から検索でき、どこの図書館から借りたかの管理が可能なこと	
			11	370	借受資料の履歴を表示する際、借受期限切れ資料の確認が容易にできること	
		統計処理	12	371	年報(相互貸借館毎・分類毎の貸出点数、借受点数)や実績一覧(借受タイトル・貸出タイトル)が印刷できること	
4 資料管理業務	書誌データ管理業務	書誌データ管理	1	372	典拠データを利用してMARCデータを登録できること	
			2	373	MARCの各種書誌情報(記事・内容等)を登録・修正することができ、検索対象とすることができること	
			3	374	複本資料も、既登録資料のMARCデータを利用して登録できること	
			4	375	JIS78で入力された文字とJIS90で入力された文字を同一視できること 例)「蟬しぐれ」と「蟬しぐれ」	
		TRC-MARC	5	376	TRCMARC(Uタイプ)に対応すること(人名典拠・内容細目・学習件名等の各種サブファイルの登録・活用ができること)	
			6	377	TRCMARC(Tタイプ)に費用を追加することなく対応できること	
			7	378	TOOLi等のMARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること、また、TOOLiのダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録が可能なこと	
			8	379	定期的にTOOLiサーバ上のMARCデリバリファイルを確認し、新規(未処理)のMARCデータファイルが配信されている場合には自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理を実行できること	
		JAPAN/MARC	10	381	国立国会図書館が提供する『JAPAN/MARC MARC21フォーマット』形式のMARCファイル取込みができること	
			11	382	図書登録画面からNDL-OPAC(http://iss.ndl.go.jp/api/)の情報を検索する画面に展開し、検索した結果をコピーして書誌の登録ができること	
		資料管理帳票	12	383	所蔵資料の資料区分・統計分類ごとに点数・金額を集計し、内訳表を出力できること	
			13	384	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること	
			14	385	統計データをExcelと連携し、出力できること	
	ローカルデータ管理業務	ローカルデータ管理	1	386	ローカル情報で「所蔵館」「所在館」等の詳細情報を管理して分館連携に対応できること	
			2	387	ローカル情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること	
			3	388	ローカル情報に付加するコメントごとに登録日と登録館を登録でき、さらに変更が可能なこと	
			4	389	資料に付与された定型コメントを抽出し、一括削除できること	
			5	390	資料バーコード読み込みによるローカル情報の連続変更および条件の範囲指定による一括変更ができること(所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与／変更、コメントの付与等)	
			6	391	資料番号が登録されたテキストファイルの読み込みによるローカル情報の連続変更ができること(所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与／変更、コメントの付与等)	
			7	392	借受資料登録時は借受先が入力できること	
			8	393	資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認および一覧表の印刷が可能なこと	
			9	394	複本のデータ管理が行えること	
			10	395	資料の除籍・復籍処理が連続で行えること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			11	396	蔵書点検用携帯端末で読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分の一括変更ができること	
			12	397	資料の新規登録時、資料種別がバーコード上の特定の桁位置の値から判別できる場合は自動的に表示すること	
			13	398	資料の新規登録時、資料種別が書誌情報のNDC分類または別置から判別できる場合は自動的に表示すること	
			14	399	資料の新規登録時、請求記号を書誌情報の下記の項目をもとに初期値を表示できること NDC分類、刊行形態区分、著者名カナ、書名カナ、巻冊記号、別置記号	
		蔵書点検	15	400	蔵書点検は全館一斉だけでなく、一部の館のみ点検処理を行い、他の館は通常通り開館できること	
			16	401	蔵書点検は全館一斉だけでなく、一部の館のみ点検処理を行い、他の館は通常通り開館できること	
			17	402	蔵書点検準備処理として、点検開始日・所蔵館・保管場所・資料種別・別置・分類を指定して、対象の資料を点検対象とする	
			18	403	蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること	
			19	404	蔵書点検準備処理を複数設定する際は、条件の重複がないかチェックできること	
			20	405	蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること 設定された条件は、変更・削除が可能なこと	
			21	406	蔵書点検期間中でも発注や受入ができること	
			22	407	蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること	
			23	408	蔵書点検の際、不明資料・未返却資料については、自動的に通常状態にし、返却処理を行えること	
			24	409	蔵書点検は蔵書点検用携帯端末、業務用クライアントで作業ができること	
			25	410	不明更新を行う前に不明候補資料の一覧を印刷できること	
			26	411	任意指定回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること	
			27	412	蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること	
			28	413	蔵書点検の進捗状況管理(対象点数のうち点検済みになった点数の確認)が保管場所単位で可能であること	
		特集資料管理	29	414	特集毎に資料番号の読み取り、または、POT等使用して出力した資料番号データを取り込むことにより、資料が登録できること また、登録済みの特集に資料番号の読み取りにより追加・削除ができること	
			30	415	特集へ登録した資料の所蔵館、保管場所を一括で変更できること また、特集終了後は変更前の所蔵館、保管場所に一括で戻ること	
			31	416	特集を一時停止できること 一時停止した場合、登録資料の所蔵館、保管場所が変更前の内容に一括で戻ること	
			32	417	一時停止した特集を復帰処理させることで、特集を再開できること 例)クリスマス特集を来年度も再利用できる	
			33	418	特集資料管理画面では特集の状態、特集内容、登録資料数、開始日、終了予定日、所蔵館、保管場所を一覧表示できること	
			34	419	特集へ登録している資料一覧を印刷できること	
			35	420	特集資料管理画面から、特集へ登録している資料の目録情報が参照できること	
			36	421	特集の開始、停止、再開、終了は任意のタイミングで手動で行えること	
			37	422	複数の特集を同時に管理できること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			38	423	1点の資料を複数の停止中の特集に登録できること	
			39	424	特集に資料を登録したとき、他の特集に登録済みの資料であるかチェックされること	
			40	425	現在有効になっている特集に登録済みの資料を他の特集に登録した場合、登録済みの特集名を表示でき、新規の特集に登録変更するか変更しないか選択できること	
			41	426	特集ごとに開始日／終了予定日に合わせて自動的に所蔵館、保管場所の変更を開始／停止する設定ができること 手動での動作に戻すこともできること	
			42	427	特集毎に年齢別の貸出冊数統計が出力できること	
		その他	43	428	借受け先別順の資料リストが出せること	
			44	429	弁償待ち資料の一覧が作成、印刷できること	
			45	430	資料情報更新結果印刷についてソート条件として請求記号を選択できること その際、資料種別＋請求記号順にてソートできること	
			46	431	除籍資料リスト一覧画面、除籍予定リスト及び除籍リストに以下の情報が出力できること 全館の複本冊数／全館の利用可能冊数／最終利用日／通算貸出累計数／本年度貸出累計数	
	雑誌管理業務	雑誌管理	1	432	タイトル書誌一覧を表示することによりタイトルを特定し、タイトル／巻号の書誌連携が行えること	
			2	433	タイトルと巻号情報が分けて管理されること	
			3	434	各種データを可変長にて登録し、検索できること	
			4	435	最新号の登録時に直前号の巻号情報を初期表示できること	
			5	436	逐次刊行物(雑誌等)の欠号・増刊管理ができること	
			7	437	逐次刊行物等の製本(合本)処理ができること また、製本された資料のタイトル情報は移行され資料検索できること	
			8	438	最新号を受け入れたタイミングで、それ以前の巻号は自動的に貸出可能となること	
			10	439	雑誌タイトルごとに貸出禁止期間の設定ができること	
			11	440	雑誌タイトルごとに保存期間の設定ができること 保存期間には「永久保存」の設定もできること	
	その他	外部公開	1	441	おすすめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること	
		その他	2	442	貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること	
			3	443	タイトル情報登録画面にて人名情報・著述区分を変更した際に、責任表示欄に変更した内容が反映されること	
			4	444	未利用資料の一覧が印刷できること また「最終貸出日」「最終確認日」を出力できること	
			5	445	未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行した時の条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること	
			6	446	資料番号またはISBN番号またはMARC番号が記載されたテキストファイルを読み込み、対象の書誌情報の一覧を画面表示や帳票出力できること	
5 選書業務	選書管理	選書管理	1	447	ISBN番号から選書登録ができること	
			2	448	MARCを利用して選書登録ができること	
			3	449	TOOLi連携時には、TOOLiを利用したMARC番号入力により選書登録ができること	
			4	450	見計らい本等を使用して、選書候補となる資料を「選書登録」または「一括選書登録」ができること	
			5	451	発注前の選書状態を管理するための状態区分があること	
			6	452	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、発注の状態を変更できること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			7	453	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、選書取消ができること	
			8	454	選書登録した資料を一括で発注処理ができること	
			9	455	選書の一括発注時に選書保留状態の資料が発注対象にならないこと	
			10	456	選書登録画面で各館の選書状況を確認できること	
			11	457	選書の一括登録時、館ごとの注文数を指定して登録できること	
			12	458	登録した選書情報を選書リストに出力できること	
			13	459	選書リストに発注番号のバーコードを出力できること	
			14	460	選書リストに出力したバーコードを利用し、資料の選書状態／保留状態を変更できること	
	6 発注・受入管理 業務	発注・受入確認	1	461	発注状況、受入状況が画面で確認できること	
			2	462	発注中の図書資料についてもMARCで検索できること(発注中のステータスを画面上に表示できること)	
			3	463	発注図書にそのリクエスト者を(複数)入力できること	
			4	464	新刊MARCを利用した発注が可能なこと	
			5	465	インターネットを利用したMARCデータの受発注システム(TRCのTOOLi等)に対応すること	
			6	466	同一タイトルに対する「二重発注」のチェックを可能とするため、発注点数を表示すること(他に何点発注しているか分かること)	
			7	467	新刊案内等に印刷されたバーコードを読み込むことにより、発注データの作成が可能なこと(一点毎の確定を必要としないこと)	
			8	468	発注の取消が行えること	
			9	469	発注する資料のMARC番号、ISBN番号を連続して入力することにより、一括発注ができること	
			10	470	TRCの発注データを作成できること(作成・抽出したデータは一覧形式で印刷できること)	
			11	471	新刊MARC一括登録時、「新刊急行ベル」などの資料は自動で発注データを作成できること(TRCの発注データは作成しない)	
			12	472	発注の取消ができ、取消した発注情報は履歴として残すことができること	
			13	473	TOOLi一括発注画面を使用したTOOLiサーバへの直接発注時に、以下の発注種別を指定できること 通常発注／クイック発注／見計らい発注	
			14	474	TOOLi連携時、発注一覧画面での「注文済」状態の発注情報に対し、以下の情報を出力できること TOOLi進捗状況／TOOLi受信方法／TOOLi受注形態／TOOLi受付日／TOOLi入荷日／TOOLi出荷日	
			15	475	MARC番号発注での発注入力時に、TOOLiサーバを参照して発注するタイトルの在庫状況を表示できること	
		受入処理	16	476	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること(受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること)	
			17	477	発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店毎に出力できること	
			18	478	発注情報を参照しながら受入処理が行えること	
			19	479	資料のISBNバーコードを読み取って書誌を特定して受入できること	
			20	480	各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検収処理が行えること(検収画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること)	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			21	481	受入後一定期間、新着資料として識別することができること	
			22	482	受入リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件: 所蔵館、資料種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態区分、受入日、別置区分、資料番号、分類 ・ソート条件: 館、種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態、タイトル順、資料番号順	
			23	483	受入リスト印刷での帳票プレビュー・出力、およびテキスト出力にて、ISBN番号を出力できること	
			24	484	雑誌受入リスト印刷で発行周期を出力できること	
		新着資料印刷	25	485	新着資料案内を印刷できること	
		予算管理	26	486	資料の受入先(書店等)が複数の場合でも予算管理ができること	
			27	487	発注時処理から予算の差し引き処理が自動連携できること	
			28	488	受入処理から予算の差し引き処理が自動連携できること	
			29	489	年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること	
7 利用者管理業務	利用者管理	利用者検索	1	490	利用者氏名(カナ・漢字・アルファベットで全半角混在で可能)・電話番号・生年月日・利用者区分・E-Mail・利用者状態区分・利用者番号・連絡先名・連絡先電話番号・郵便番号での検索処理が行えること	
			2	491	複数の項目に入力することによりAND検索ができること	
			3	492	入力した検索条件に該当する利用者と、その利用者に対して事前に関連付けした家族利用者を同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること	
			4	493	入力した検索条件に該当する利用者と、電話番号、もしくは、住所が一致する利用者を家族利用者として同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること	
			5	494	検索中断件数を設定できること(検索中断キーにより任意に中断できること)	
			6	495	検索結果画面は条件入力画面と同一画面で表示されること	
			7	496	利用者一覧にて表示できること 項目の種類・幅・順番を任意に設定できること	
			8	497	利用者の詳細情報を表示できること(氏名・電話番号・生年月日・年齢・住所・最終利用日・督促累積回数・有効期限・貸出資料一覧・予約資料一覧・コメント等が確認できること)	
			9	498	検索された利用者を特定することにより、貸出中資料、予約中資料の確認、処理展開ができること	
			10	499	検索された利用者を特定し、その家族が検索できること(家族連携対象者および電話番号一致利用者)	
			11	500	デフォルトカーソルの位置は、任意設定が可能なこと	
			12	501	入力した電話番号ですべての連絡先の電話番号を検索できること	
			13	502	ローカル端末による利用者検索では、公共、学校(自グループ)のみ検索対象とすること	
		利用者抽出	14	503	団体利用者・相互貸借利用者毎のリストが出せること	
			15	504	地区別に利用者集計を出力できること	
			16	505	抽出結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること	
			17	506	統計データをExcelと連携し、出力できること	
		利用者処理	18	507	利用者一覧画面から選択した利用者の番号置換え・再発行・有効期限更新・利用状態区分一括変更・一覧印刷が可能なこと	
		無効処理	19	508	最終利用日から一定期間(任意に設定可)を過ぎた利用者(除籍)にできること	
		督促・予約処理	20	509	貸出期限・貸出館・資料種別・利用区分・予約状況によって督促対象者の抽出・設定ができること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			21	510	一定期間以上未返却の資料、または返却予定日の範囲指定および督促回数により、督促はがきを印刷できること(印刷する利用者を任意に選択できること)	
			22	511	督促対象資料中の予約資料のみを抽出し、督促対象設定・はがきの印刷が可能なこと	
			23	512	返却予定日の範囲指定、督促回数、予約状況、借受け資料、貸出館により、督促リストの印刷ができること(氏名や電話番号・住所・資料種順に打ち出せること)	
			24	513	督促状で保護者を設定している場合は保護者の印字もできること	
			25	514	督促状に資料名・資料番号のいずれを印字するか選べること	
			26	515	督促はがきにコメントを印刷できること	
			27	516	はがきに「料金後納郵便」を印字できること	
			28	517	督促状はA4サイズのドライシーラ(単票)の用紙にも対応できること	
			29	518	督促状は封書(B5サイズ)にも対応できること	
			30	519	督促状は秘匿感熱用紙(はがき)にも対応できること	
			31	520	予約連絡メールをシステムから送信できること	
			32	521	複本一覧画面から、貸出中資料の貸出利用者に対して督促連絡を依頼する督促連絡票を、貸出館のプリンタに直接出力できること	
		紛失・弁償管理	33	522	貸出中資料を利用者が紛失した場合に、紛失中または弁償中という状態を管理できること	
			34	523	紛失資料の一覧が印字できること	
		予約連絡管理	35	524	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象:全件、割当済のみ、未割当のみ、予約状態 ・範囲指定:予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分	
			36	525	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信、はがきによる一括出力が可能であること ・抽出条件:利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法(電話、E-Mail等)	
		督促連絡管理	37	526	督促リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件:返却期限、督促回数、貸出館、資料種別、利用者区分、貸出状態、予約受渡館、連絡方法 ・利用者に対して督促対象外コメントを入力した場合、リストから対象外とすること ・上記督促リストは督促処理などのバッチ処理を不要とすること	
			38	527	督促連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、督促連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件:利用者番号、返却期限日、督促連絡日、督促日、督促回数、督促回数、貸出館、貸出状態、連絡方法(電話、E-Mail等)、連絡状態	
			39	528	督促連絡済の記録について、資料毎の連絡回数と各連絡時の情報(連絡日、連絡方法、備考等コメント)、連絡状態の管理が可能なこと	
		E-mail機能	40	529	次の画面から対象の利用者に対しE-Mailの入力画面を開き、連絡用のメールを送信する機能を有すること 利用者貸出一覧画面、利用者予約一覧画面、利用者詳細画面	
			41	530	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡できること	
			42	531	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の貸出情報を連絡できること	
			43	532	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の貸出資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の貸出資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			44	533	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡できること	
			45	534	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の予約情報を連絡できること	
			46	535	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の予約資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の予約資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること	
			47	536	返却期限日が近づいている利用者に対して、返却期限日をお知らせするメールを送信できること	
			48	537	返却期限日を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること	
			49	538	返却期限日が過ぎている利用者に対して、延滞を連絡するメールを送信できること	
			50	539	返却期限日超過を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること	
8 館内OPAC	館内OPAC	全般	1	540	タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること	
		検索	2	541	ひらがな、カタカナ、数字、特殊文字の文字入力が可能なこと	
			3	542	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること	
			4	543	資料区分(図書・雑誌・AV(音響資料・映像資料))または全資料より選択して検索できること	
			5	544	資料種別(図書・雑誌・AV(CD・ビデオ・DVD等))または全資料より選択して検索できること	
			6	545	検索対象とする館を自館のみか全館かまたは複数の館を選択した上で検索できること	
			7	546	雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること	
			8	547	タイトル・著者名(典拠データ参照)・キーワード等より選択して検索できること(一般書か児童書かで絞った後でも可能なこと)	
			9	548	50音表記から検索キーの入力ができること(この時表示されるキーボードは右並び、左並びが選択可能なこと)	
			10	549	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること	
			11	550	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること	
			12	551	検索結果が並べ替え(ソート)可能なこと	
			13	552	フリーキーワードによる中間一致検索が可能なこと	
			14	553	検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ(先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定)に直接移動できること	
			15	554	特定保管場所の資料を検索対象外とすることができること	
			16	555	予め設定した任意の期間を超えて延滞している資料を検索の対象外にできること	
			17	556	発注中の資料を館内OPACで公開でき、検索／予約の対象にできること	
			18	557	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること	
			19	558	館内OPACでキーボードを使用することなく、漢字検索を行うことができること	
			20	559	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
		画面構成・表示	21	560	大人用・子供用の画面を用意し、利用者が使いやすい機能であること	
			22	561	画面を触らない時間(任意設定)が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、もしくは初期画面に戻る	
			23	562	一覧表示形式は、タイトル毎に横形式に表示すること	
			24	563	所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること(複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること)	
			25	564	資料情報明細欄に表示させる項目・幅・見出しが自由に設定できること	
			26	565	除籍予定や不明資料などは表示しないこと(状態区分により、任意に設定できること)	
			27	566	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する	
			28	567	館内OPACから、利用者番号、パスワードの認証により、予約受付が可能	
			29	568	予約が完了したら認証済み状態ではなくなる	
			30	569	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できる	
			31	570	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できる	
			32	571	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できる	
			33	572	自館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する／しないを設定できる	
			34	573	他館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する／しないを設定できる	
			35	574	複数もしくは単数のタイトルを1回の認証で予約ができる	
			36	575	タイトル一覧画面で予約ができないタイトルは、複数選択のボタンの選択ができないようになっている	
			37	576	タイトル一覧画面で複数のタイトルを選択したとき、ページを移動しても選択したタイトルは記憶している	
			38	577	予約受付時に、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを入力可能	
			39	578	予約受付時の、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを省略可能	
			40	579	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできる	
			41	580	選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できる	
			42	581	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できる	
			43	582	検索した資料が貸出中もしくは他館にある場合はOPACから予約をかけることができる(利用者番号とパスワードを入力)	
			44	583	館内OPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができる	
		セット予約	45	584	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行える	
		貸出・返却	46	585	バーコードリーダを設置することによって、利用者自身が貸出・返却手続きを行える	
		パスワード登録	47	586	OPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			48	587	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること	
			49	588	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、生年月日、電話番号で認証すること	
			50	589	新規パスワード登録時、氏名(カナ)を清音化してチェックできること 例)入力文字「ジュンコ、シュンゴ、シュンコ、シュンコ…」を清音「シュンコ」と見なす	
		利用状況照会	51	590	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること	
			52	591	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること (利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る)	
			53	592	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること	
			54	593	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること	
			55	594	督促がされた貸出中資料は延長を制限できること	
			56	595	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること	
			57	596	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること	
			58	597	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			59	598	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が一点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること	
			60	599	督促がされた貸出中資料が一点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			61	600	利用者が現在借りている資料一覧をレシート印刷できること	
			62	601	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること	
			63	602	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかをあらかじめ設定できること	
			64	603	利用者が予約中の資料について予約取消ができること	
			65	604	発注中資料および借受待ち資料の予約は、取消ができないようにすること	
			66	605	利用者が照会した予約一覧をレシート印刷できること	
			67	606	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	
		利用情報変更	68	607	利用者のパスワードおよびメールアドレスの変更が可能なこと	
		検索結果印刷	69	608	検索一覧の印字、資料詳細情報の印字が可能なこと(レシートプリンタ等)	
			70	609	一画面で、印刷ボタンは1回しか押せないようにできること(連打防止の機能を有すること)	
			71	610	自館所蔵資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること	
			72	611	自館に利用可能資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること	
			73	612	所蔵情報の明細は自館所蔵のみに限定できること	
			74	613	所蔵情報の明細は自館利用可能資料のみに限定できること	
			75	614	配架図画像が印刷できること	
		レシート印刷	76	615	館内OPACから予約受付票をレシートに印刷できること	
			77	616	予約受付票には予約した利用者について以下の情報が出力できること 利用者バーコード／利用者番号／利用者漢字／利用者カナ／予約受渡館／予約受渡SP／予約連絡方法	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			78	617	予約受付票には予約した資料について以下の情報が出力できること 資料バーコード／資料番号／タイトル／著者／出版者／出版年／ページ数／価格／請求記号	
			79	618	予約状況レシートに以下の情報が出力できること 発行日／利用者番号／タイトル／予約日／受渡館／予約順位	
			80	619	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票／利用者番号通知票／資料レシート／書誌レシート／予約状況レシート／タイトル一覧レシート	
			81	620	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること	
			82	621	印字期間を登録し、開始／終了の管理ができること	
		シール印刷	83	622	貸出処理後、資料名・著者名・出版社・利用日をラベルプリンタによりシールに印刷できること	
			84	623	シールに出力する内容は、直前の操作による貸出分または選択操作した資料のみ・当日貸出分・貸出中全て、から選択できること	
			85	624	シールは再出力が可能であること	
		お知らせ	86	625	催し物表示ができること	
			87	626	テーマ毎に集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること	
			88	627	案内お知らせ機能で、図書館カレンダー情報を館毎にカレンダー形式で表示できること(システムと連動して自動的に表示できること)	
			89	628	新着資料・新刊資料・貸出ベスト資料・予約ベスト資料の表示機能があること(予め設定した条件・抽出サイクルにより自動作成されること)	
			90	629	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト資料・おすすめ本は一覧を表示するだけでなく、一覧をタッチすることにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	
			91	630	現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること	
			92	631	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること	
			93	632	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データはあらかじめ設定された条件および処理サイクルに従ってサーバー上で自動作成されること このとき、業務端末は起動していなくてもよいこと	
			94	633	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データは業務端末上で手動で作成することもできること	
		統計処理	95	634	館内OPACのアクセス統計がとれること	
			96	635	館内OPACのページ別にアクセス統計をとることができること	
			97	636	館内OPACのアクセス統計は、期間指定により曜日、自館別の集計を行うことができること	
9 WEB蔵書検索システム	Web蔵書検索システム	全般	1	637	インターネット蔵書検索が可能なこと	
			2	638	Webサーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること	
			3	639	蔵書検索はパソコンだけでなく、スマートフォン・フィーチャーフォン(携帯電話)からも検索ができること	
			4	640	「JIS X 8341-3:2016」のAAに準拠し、読上げソフトに対応したデザインであること	
			5	641	画面幅779px以下で表示した場合、スマートフォンやタブレットでも見やすいように自動的にデザインが切り替わること	
		検索	6	642	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること	
			7	643	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること 画面の両方があること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			8	644	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりAND/ORによる複合検索ができること	
			9	645	資料種別(図書・雑誌・AV(CD・ビデオ・DVD等))または全資料より選択して検索できること	
			10	646	資料名(3項目以上の複合検索が可能なこと)、人名(同左)による検索のほか、出版者・発売者・件名・NDC分類・ISBN・出版年月による範囲指定が可能なこと(フリーワード全文検索機能を有すること)	
			11	647	検索結果一覧は、資料イメージを中心としたカードモードと文字情報を中心としたシンプルモードで表示することができ、モードの切り替えを利用者自身が行えること	
			12	648	シンプルモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数および全体頁数・項番・資料名・資料区分・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること	
			13	649	カードモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数および全体頁数・書影表示領域・資料名・資料区分・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること	
			14	650	一覧表示数は3頁に30件を標準とし、25件・50件・300件と選択可能なこと	
			15	651	詳細表示として以下の項目(書誌データとしては資料名・人名・出版社・出版年月・頁数・サイズ・価格・ISBN・分類・件名・注記・内容細目・内容紹介・著者紹介・利用対象等、ローカルデータとしては所在館・保管場所・種別・請求記号・資料番号・貸出区分等)を表示できること	
			16	652	検索条件入力画面、検索結果一覧画面でソート条件(タイトル、人名、出版者等)を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること	
			17	653	検索対象とする館を複数選択した上で検索できること	
			18	654	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること	
			19	655	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること	
			20	656	資料データの状態(貸出状態、予約状態、資料状態)は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること	
			21	657	検索結果一覧、詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること	
			22	658	発注中の資料をWebOPACで公開でき、検索／予約の対象にできること	
			23	659	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること	
			24	660	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること	
			25	661	フリーワード／キーワードの検索欄に入力した語句が2文字以上の場合、予測される検索誤の候補を表示できること	
			26	662	フリーワード／キーワードの検索欄で予測表示された検索語を使用して資料検索ができること	
			27	663	検索結果一覧画面で表示される書誌を、検索画面に戻ることなく指定の項目(資料区分・所蔵館・シリーズ・人名・日本十進分類・出版年・出版国等)で絞り込むことができること	
			28	664	タイトル詳細画面で表示中の書誌と著者・出版年・分類・件名・受賞名・シリーズ名・雑誌名で関連する書誌を関連資料として表示できること	
		画面構成・表示	29	665	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			30	666	所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること(複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること)	
		予約	31	667	予約システムを提供し図書館システムとシームレスな連携が可能なこと(予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること)	
			32	668	予約カート方式であること	
			33	669	予約上限チェック(Web+図書館基本システム)が可能なこと	
			34	670	PCブラウザ用画面にて利用者がログアウトした時やブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること	
			35	671	予約などの認証時に使用するパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること	
			36	672	予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること	
			37	673	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること	
			38	674	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること	
			39	675	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくてできること	
			40	676	予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること	
			41	677	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること	
			42	678	WebOPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること	
		セット予約	43	679	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること	
		お気に入り登録	44	680	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと	
		パスワード登録	45	681	WebOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと	
			46	682	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること	
			47	683	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、生年月日、電話番号で認証すること	
			48	684	新規パスワード登録時、氏名(カナ)を清音化してチェックできること 例)入力文字「ジュンコ、シュンゴ、シュンコ、シュンコ…」を清音「シュンコ」と見なす	
		利用状況照会	49	685	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること	
			50	686	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること	
			51	687	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること	
			52	688	督促がされた貸出中資料は延長を制限できること	
			53	689	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること	
			54	690	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること	
			55	691	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			56	692	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること	
			57	693	督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			58	694	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること	
			59	695	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示できること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			60	696	利用者が予約中の資料について予約取消ができること	
			61	697	発注中資料および借受待ち資料の予約は、取消ができないようにすること	
			62	698	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること	
			63	699	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること	
			64	700	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること	
			65	701	貸出中資料の延長は任意の1点または複数冊を選択して行えること	
			66	702	お知らせ・貸出中一覧・予約中一覧(未確保／確保済み)・新着資料一覧・図書館カレンダーを同一画面上に表示でき、各表示領域は利用者自身が配置を変えて使うことができること	
			67	703	貸出中資料の延長は任意の1点または複数冊を選択して行えること	
		雑誌一覧表示	68	704	雑誌の一覧表示機能があること	
			69	705	刊行頻度を表示可能であること	
			70	706	雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること	
			71	707	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	
			72	708	雑誌一覧から非表示とする雑誌タイトルを任意で設定できること	
		利用者登録情報変更	73	709	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えることまた、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすることでE-mail変更を確定できること	
			74	710	予約時の予約受渡館の初期値を登録することができること	
			75	711	予約時の連絡方法の初期値を登録することができること	
			76	712	返却お知らせメールの受信選択が登録できること	
		利用者機能	77	713	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること	
			78	714	予約カートは追加、削除を可能とすること	
			79	715	予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること	
			80	716	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること	
			81	717	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	
			82	718	利用者認証時に、特定の利用者コメント(忘れ物があります、置き置き資料あり等)を通知できること	
		お知らせ	83	719	図書館カレンダー情報を館別にカレンダー形式で表示できること(業務システムに登録したカレンダーから抽出できること)	
			84	720	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	
			85	721	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること	
			86	722	お知らせ表示機能があること図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること	
			87	723	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること	
			88	724	子ども向けのお知らせ・検索等の機能があること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			89	725	資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること	
			90	726	資料詳細画面の複本一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること	
			91	727	資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること	
			92	728	WebOPAC、館内OPACに表示するお知らせの期間を任意に設定できること	
			93	729	現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること	
			94	730	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること	
		統計処理	95	731	WebOPACのアクセス統計がとれること	
			96	732	WebOPACのページ別にアクセス統計をとることができること	
			97	733	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること	
		外部サイト連携	98	734	外部サイトと連携し、書影が表示できること	
			99	735	書影はGoogleBooks及びAmazonサイト両社から選択可能なこと	
			100	736	WebOpacの書誌詳細画面にISBNを使用した外部サイトへのリンクを作成すること	
			101	737	外部サイト連携はGoogleブックス、Amazon、honto、紀伊国屋書店、楽天ブックス、7net、JUNKUDO、e-hon、ブグログ、メディアマーカ、カーリル、WebCatPlus、Amazon書評、国立国会図書館のサイトの全ての会社に対応でき、リンクの表示／非表示はそれぞれ選択できること	
10 BM(移動図書館)	BM(移動図書館)	BM業務	1	738	ハンディーターミナルまたは、ノートブックパソコンによる移動図書館において、利用者への資料の貸出／返却サービスができること。	
			2	739	ノートブックタイプでは、本館情報の一部(資料・利用者データ等)を搭載し、各種情報提供・チェックを行い、貸出・返却・予約・利用者検索・利用者登録・資料検索ができること。	
			3	740	ステーション毎の巡回予定日を管理できること。また、ステーション毎に巡回予定日を基準とした返却予定日を自動設定できること。	
			4	741	各ステーションでの貸出、返却状況を確認できること。	
			5	742	BM業務を行うために必要なデータ受信処理は容易に行えること。	
			6	743	BM端末用の貸出データ、返却データ、蔵書データを短時間(5分以内)でBM用端末に送信することができること データ容量(件数)に関係なく、短時間で終えること	
			7	744	巡回先を間違っていた場合、処理前に変更できること。	
			8	745	長時間の停電などにより、カウンター用の端末機が使用できない場合でも、移動図書館用端末にて貸出／返却サービスができること	
11 ホームページデザイン	ホームページデザイン	全般	1	746	ホームページのトップデザインのリニューアルを実施すること	
			2	747	利用者の操作性と利便性を考慮し、魅力的な情報発信ができること	
			3	748	JIS-X-8341-3:2016に準拠して作成すること	
			4	749	対応ブラウザについて MicrosoftEdge, GoogleChrome, Safari, MozillaFirefoxに対応可能なこと	
			5	750	WEBサーバーに実装すること	
		機能	6	751	企画構成からトップページ作成、次ページ以降作成、パーツなどの作成、設定・動作確認、システム搭載、研修を実施すること	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			7	752	CMS(コンテンツマネジメントシステム)機能を有すること	
			8	753	お知らせの日時指定表示,「重要」「NEW」マークなどの表示, 開館状況をリアルタイムに表示すること	
			9	754	資脆弱性の多い, WordPressは用いないこと	
			10	755	PC用ホームページとスマートフォン用ホームページが, ユーザー操作によらなくても, 画面サイズ等により自動で切り替わること	
			11	756	図書館からのお知らせについて, 児童向・大人向・全利用者向の区別が出来るよう工夫されていること	
			12	757	イベントのお知らせ, 開館日カレンダーの変更が職員操作により可能なこと	
			13	758	PDFファイル(例:イベントの場合ポスター等関連資料)の掲載が可能なこと	
			14	759	当市関係機関ホームページへのリンクが可能なこと	
			15	760	バナー挿入等の簡便な更新に対応すること	
12 図書館情報サービスと電子図書館サービスとの連携	図書館情報サービスと電子図書館サービスとの連携	連携	1	761	電子図書館サービスとの連携が可能である。 ・連携予定電子図書館システム会社名及びシステム名をご記入ください。 () ・上記のほか、連携可能な電子図書館システム会社名及びシステム名をご記入ください。 ()	
	貸出業務	連携	1	762	電子図書館の資料を借りている利用者の場合、貸出一覧画面で利用中の資料を確認できること	
	資料検索業務	連携	1	763	図書館の資料と電子図書館の資料を同時に検索し、結果の一覧を同一画面に表示できること	
	予約リクエスト業務	連携	1	764	利用者単位の予約上限数として、資料区分の任意の組み合わせに、電子書籍を追加できること	
			2	765	電子図書館の資料を予約している利用者の場合、予約一覧画面で予約中の資料を確認できること	
	書誌データ管理業務	連携	1	766	図書館が独自に登録したコンテンツ(図書・AV)のデータを、MARC形式で図書館システムに取り込み、利用することができること	
			2	767	電子図書館の資料の公開状況、貸出可能数を図書館システムで確認できること	
	利用者管理	E-mail機能	1	768	電子図書館で自動返却、自動取り置き、自動貸出された情報を利用者に対してメールで通知できること	
			2	769	電子図書館で自動返却、自動取り置き、自動貸出されたことを知らせるメールは、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることができること	
	館内OPAC	検索	1	770	資料区分(図書・雑誌・AV等)の組み合わせに、電子書籍を追加できること	
			2	771	資料種別(一般書・児童書・郷土資料・雑誌・CD・ビデオ・DVD等)の組み合わせに、電子書籍を追加できること	
		連携	3	772	図書館の資料と電子図書館の資料を同時に検索し、結果の一覧を同一画面に表示できること	
			4	773	タイトル一覧画面で資料区分が電子図書館の資料であることがひとめでわかること(タイトル詳細画面での確認のみとすることもできること)	
			5	774	貸出可能資料の有無に関係なく、電子図書館の資料については予約ボタンを非表示とすること	
	WEB蔵書検索システム	検索	1	775	資料種別(一般書・児童書・郷土資料・雑誌・CD・ビデオ・DVD等)の組み合わせに、電子書籍を追加できること	
		連携	2	776	WEBのOPAC内に電子図書館トップページへのリンクを用意できること	
			3	777	図書館の利用者番号、パスワードで電子図書館サービスを利用できること(図書館システムで利用者番号またはパスワードが変更された場合、特に処理を行うことなく電子図書館サービスを利用できること)	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			4	778	図書館システムで利用者カードの再発行、統合が行われた場合、特に処理を行うことなく継続して電子図書館サービスを利用でき、貸出情報や予約情報が引き継がれること	
			5	779	利用者区分(市内在住・市内在勤・市外在住等)により、電子図書館の利用を制限できること	
			6	780	図書館の蔵書データと電子図書館の蔵書データを同時に検索し、結果の一覧を同一画面に表示できること	
			7	781	タイトル一覧画面で資料区分が電子書籍であることがひとめでわかること(タイトル詳細画面での確認のみとすることもできること)	
			8	782	電子図書館の資料は電子図書館のサムネイルを利用して書影表示できること	
			9	783	WebOPACのタイトル詳細画面から電子図書館の詳細画面に遷移できること(WebOPACでログイン済みの場合、特にID、パスワードの入力なく閲覧できること)	
			10	784	図書館が独自に登録したコンテンツ(図書・AV)の場合、利用者カードの有無に関係なく閲覧可能とすることもできること	
			11	785	貸出可能資料の有無に関係なく予約ボタンを非表示とすること	
			12	786	利用認証後、利用状況照会画面に電子図書館マイライブラリへのリンクが用意できること	
			13	787	電子図書館の資料の貸出ログ、予約ログを図書館システムの利用統計として出力できること	
13 帳票・統計	帳票・統計	帳票全般	1	788	随時作成でき、日報、月報、年報はリアルタイムに処理可能であること また、日報は当日中に出力できること	
			2	789	各種統計帳票については、対象となる統計帳票、抽出条件、実行サイクルを設定する等により、印刷データを自動作成することができ 自動作成した印刷データは任意に参照でき、印刷することができること	
			3	790	基本的にA4サイズで統一していること	
			4	791	抽出条件、打ち出し順の選択の幅が広いこと	
			5	792	印字途中での中断、取消、保留、継続が選択できること また、利用者リストなど、大量(30,000件以上)のリスト出力を可能とすること	
			6	793	基本的に罫線付きであること	
			7	794	プレビュー機能で画面で確認できること	
		自由帳票	8	795	蔵書データ、利用者データ、統計データを対象とし、抽出項目、抽出条件、集計単位を任意に指定し、印刷イメージ及びテキストファイルに出力できること。 また作成した抽出パターンは登録可能で繰り返し利用可能なこと。	
		帳票	9	796	以下の帳票等が印字できること	
			10	797	貸出票	
			11	798	貸出資料一覧	
			12	799	予約者連絡表(返却)	
			13	800	利用者リスト	
			14	801	多重登録利用者リスト	
			15	802	団体利用者リスト	
			16	803	未利用利用者リスト	
			17	804	督促リスト	
			18	805	督促はがき	
			19	806	督促連絡依頼票	
			20	807	長期延滞資料リスト	
			21	808	資料検索結果図書一覧	
			22	809	資料検索結果図書目録	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			23	810	新刊選書リスト	
			24	811	発注済新刊選書リスト	
			25	812	注文リスト	
			26	813	雑誌受入れ予定リスト	
			27	814	受入れリスト	
			28	815	未納品リスト	
			29	816	新着資料リスト	
			30	817	新刊リスト	
			31	818	雑誌受入れリスト	
			32	819	予算執行状況リスト	
			33	820	発注金額集計リスト	
			34	821	受入れ金額集計リスト	
			35	822	図書書名目録	
			36	823	図書著者名目録	
			37	824	図書分類目録	
			38	825	図書件名目録	
			39	826	雑誌タイトルリスト	
			40	827	AVタイトル順目録	
			41	828	AV人名順目録	
			42	829	AV分類目録	
			43	830	AV件名目録	
			44	831	人名典拠リスト	
			45	832	出版者典拠リスト	
			46	833	件名典拠リスト	
			47	834	図書原簿	
			48	835	除籍予定リスト	
			49	836	雑誌一括除籍予定リスト	
			50	837	除籍リスト	
			51	838	除籍原簿	
			52	839	未利用資料リスト	
			53	840	蔵書点検エラーリスト	
			54	841	蔵書点検もれリスト	
			55	842	不明資料リスト	
			56	843	利用統計日報	
			57	844	利用統計月報	
			58	845	利用統計年報	
			59	846	相互貸借月報	
			60	847	相互貸借年報	
			61	848	曜日別利用統計年報	
			62	849	地区別利用登録者集計	
			63	850	地区別利用冊数	
			64	851	団体貸出年報	
			65	852	雑誌号別貸出冊数集計	
			66	853	蔵書統計年報	
			67	854	受払年報	
			68	855	ベストリーダー	
			69	856	予約ベスト	
			70	857	AV利用状況リスト	
			71	858	雑誌別予約件数集計	
			72	859	貸出予約状況年報	
			73	860	広域利用統計	

※(注意1)下記の機能全てを有することを奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズでの対応も可とする。
※(注意2)優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認すること。
※(注意3)表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
機能を有する…○、一部機能を有する…△、機能を有しない…×

※(注意4)「別紙1-2」電子図書館システム機能(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

大分類	小分類	処理機能	小分類順	連番	要 求 機 能	★回 答 対応可否 ※(注意3)を参照 (プルダウン)
			74	861	資料回送統計	
			75	862	蔵書点検発見資料リスト	
			76	863	分類別蔵書冊数集計	
			77	864	保管場所別蔵書冊数集計	
			78	865	特殊貸出統計	
			79	866	再発行利用者リスト	
			80	867	除籍利用者リスト	
			81	868	寄贈資料リスト	
			82	869	雑誌JANコードリスト	
			83	870	蔵書場所別種別統計	
			84	871	移動統計年報	
			85	872	移動統計月報	
			86	873	移動統計日報	
			87	874	地区別予約件数集計	
			88	875	予約在庫リスト	
			89	876	請求記号別貸出冊数集計	
			90	877	請求記号別予約冊数集計	
			91	878	地区別パスワード登録集計	
			92	879	時間帯別利用統計	
			93	880	公共図書館調査表	
			94	881	コメント別利用者リスト	
			95	882	受取館別予約統計	
			96	883	雑誌タイトル別貸出ベスト	
			97	884	雑誌タイトル別統計	